

令和 5 年 5 月 24 日現在

機関番号：37129

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18H03083

研究課題名(和文) 高機能データベースを用いた先天性心疾患患者のための包括的看護支援システムの構築

研究課題名(英文) Development of a comprehensive nursing support system for patients with congenital heart disease using a high-performance database

研究代表者

榑木 晶子 (CHISYAKI, Akiko)

福岡看護大学・看護学部・教授

研究者番号：60216497

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、CHD患者の出生時から現在に至る臨床背景、 成育過程での心身の問題点(発達障害、妊娠・出産等)をデータベース化する、 患者・家族の啓発を行い、 関連医療機関でCHD患者の生涯医療管理を可能とする双方向性医療情報集約システムの構築である。約600例の先天性心疾患患者の幼小児期からの経時的臨床情報(治療、臨床経過、合併症、各種検査値)、約150例の周産期データをRED Capを用いて高機能電子データベース化し、分担研究施設からの安全な双方向性アクセスを可能とした。横断的患者アンケート調査においては、成人先天性心疾患患者500人と家族300人を対象として調査を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

小児から成人循環器医への情報伝達には病歴が長いために大きな労力を要するが、高機能電子的データベース構築により双方向的情報共有が可能となりシームレスな患者の情報の移行が可能となる。一方、移行期に不安が強くなる患者の心のケアや脱落を予防するために、病初期からの患者・家族の啓発により生涯にわたる疾病管理を行える。医療情報の集約化と患者啓発という研究課題の遂行により疾病の重症化や心事故の発生の予防にも資する可能性がある。病気に対する理解も促進され患者の自立を支援できる。さらに患児の成人循環器への円滑な移行モデルは他の小児慢性疾患にも応用でき、小児慢性医療全般の質の向上に貢献できると考える。

研究成果の概要(英文)：The aim of this study was to create the database of the clinical backgrounds of whole life, health problems of body and mind in CHD patients. As the education of patients and their family, we held seminars and lectures. We also aimed to establish an interactive medical information system that enabled lifelong medical management of patients at related medical institutions. We collected clinical information of 600 patients from childhood and perinatal data of 150 patients using REDCap system. The survey items were demographic data, clinical history, present status, medications, and laboratory data (blood examination, chest XP, echocardiography, and ECG). Those data were recorded on the REDCap system (Research Electronic Data Capture, Vanderbilt University) and will be analyzed. From now on, we will collect the data from Fukuoka municipal children's hospital and connect the data with ours. Those connected data becomes very efficient for the follow-up of ACHD patients in future.

研究分野：循環器内科学

キーワード：先天性心疾患 移行期 高機能データベース 包括的看護支援

1. 研究開始当初の背景

循環器疾患の中でも、先天性心疾患は非常に特殊な領域である。まず、先天性心疾患と分類される心疾患も心房中隔欠損症や心室中隔欠損症のような解剖学的に単純な形成異常から Fallot 四徴症のような複雑な形成不全まで、その重症度も多様であり、一括りにできないこと。また、多くの CHD 患者が出生時から制限した生活下で成長していること。形成異常の修復はなされているが、遺残症や続発症が経時的に出現してくること。多くの遺残症や続発症が問題となってくるのは成人期であること。このような臨床背景を持っているために、CHD 患者のライフステージに対応した適切な時期の適切な包括的対応が必要である。その 1 つの節目として小児から成人への成長段階において慣れ親しんだ小児科医から見知らぬ循環器内科医への移行は大きなハードルとなる。一方、受入れ側の循環器内科医においては先天性心疾患に精通した医師はまだまだ限られており、増大している成人 CHD 患者に十分、対処できるだけの医師が育っていない。容赦なく移行してくる成人 CHD 患者に対応するためには限られた医師だけでは不可能であり、メディカルプロフェッショナルの協力のもと、多職種チームとして 1 人 1 人の CHD 患者に対して包括的に対応する必要がある。厳しい医療環境において CHD 患者が円滑に移行できる仕組みを作るために看護師を中心とした包括的チーム医療の着想に至った。さらに、患者と患者家族においては心疾患に対する理解・認識が低いことも多い。生活習慣上の留意点などに対して、患者と患者家族の啓発も同時に行なう必要があり医療者側の努力だけでは不十分である。この啓発活動を行うためには、不足している医師だけでは同様に不十分であり、この点に於いても多職種の連携が必須である。また、CHD 患者の生涯にわたる治療の継続、合併症の予防・早期発見やライフステージに対応した的確なケアを可能とするためには生下時の臨床データや手術時の記録、その後の経過に関する情報が整備しておく必要がある。しかし、これまでは小児科から成人循環器内科に移行する際に非常に詳細な情報まで引き継ぐことは難しく、ドロップアウトしていた患者の突然の受診時には不十分な情報の下に成人循環器医は CHD 患者を診て行かねばならないことも多々ある。患者個人の生涯データベースが構築され移行先の医療機関と双方向性に共有することが必要である。その方法として最も効率がよいのは高機能電子化データベースである。IT 技術の発展により、このようなシステムも今後益々整備されてゆくであろう。今回、本研究で用いる RED Cap は、一端、データベースデザインがなされると ID とパスワードが付与された医師やメディカルプロフェッショナルの誰もがこのデータベースにアクセスでき、データの追加も可能である。データベースの追加・変更も履歴が残ってゆく。個人情報の保護には十分配慮し安全性も確保されねばならないが、このデータベースが関係者で共有されることにより、患者のシームレスな医療情報を得ることができ、効率よく患者情報が関連する医療スタッフにひきつがれてゆく。

2. 研究の目的

本研究は① CHD 患者の出生時から現在に至る臨床背景を調査し、異なる施設からもアクセスできる安全性の高い高機能電子的データベースを構築する、② 成育過程での心身の問題点(成長障害、妊娠・出産等)を調査し現状を把握する、③ 患者・家族の啓発:CHD 手帳の作成、勉強会開催等を行い、④ 小児から成人循環器にいたる連携医療機関で CHD 患者の生涯医療管理を可能とする医療情報に基づいた包括的看護支援システムを構築することである。

(1) 高機能電子的データベース整備による診療連携体制の構築

我国では、高機能電子的患者データベースを用いて診療連携を行う試みは全く開始されていない。信州大学附属病院 ACHD センターと長野県立こども病院循環器センターでは診療連携協定を結び双方向のカルテ閲覧システムを導入し、こども病院からの信州大学への紹介患者の受け入れを円滑にする試みがなされている。優れた仕組みであるが、汎用性が無く多くの施設に広げてゆく事は困難である。これからの IT 技術の発達を考えると我々の用いる高機能電子的患者データベースはセキュリティや汎用性の面で優れており将来性がみこまれる。

(2) 横断的患者アンケート調査による CHD 患者の生涯にわたる心身の問題の明確化

本院、及び JCHO 九州病院、福岡市立こども病院を受診する 13 歳以上の CHD 患者に対して、小児から成人への成育過程での心身の問題点(発達障害、結婚、妊娠・出産等)、QOL、不安やうつなどの状況を、質問紙票を用いて外来受診時に調査する。此によって CHD 患者の現状を把握し患者啓発事業や包括的支援の基礎情報となる。エビデンスに基づいた包括的看護支援が可能となる。

(3) 包括的看護支援と患者啓発事業

データベースから得られた結果と横断的患者アンケートから見えてくる患者像をもとに患者手帳の作成や、循環器医、精神科医、臨床心理士、栄養士、地域在宅医療との連携のために訪問看護師も参加して小児循環器専門の看護師による包括的看護支援を立ち上げ CHD 患者の支援を行う。また、定期的に心疾患こどもの会との共同運営で総会や勉強会に協力し啓発講演会や相談会を開催する。

3. 研究の方法

(1) 高機能電子的データベースの構築及び前向き登録

① これまで申請者らが後向き調査として蓄積してきた 2009 年から 2015 年までに福岡市立こども病院から九州大学病院循環器内科に移行してきた CHD 患者の幼小児期からの経時的臨床情報（治療内容、臨床経過、合併症、心電図検査、心エコー検査、血液データ等）が FileMaker Pro や Microsoft Access に約 700 例分が登録されており、これらの臨床データを RED Cap を用いて高機能電子データベース化し、多施設から安全に双方向的にアクセス出来るようにする。

② 多施設（九州大学病院、JCHO 九州病院、聖路加国際病院、日本循環器病研究センター）で後向きに取得された CHD 妊婦患者の周産期データ 150 症例も RED Cap を用いて電子化し、医療情報を共用できるようにする。

③ 2016 年～2017 年度の移行外来の CHD 患者の後ろ向き調査結果を RED Cap に追加登録する。

④ 2018 年度から移行外来に新規に受診する CHD 患者の前向き登録を開始し、今後は症例を前向きに追跡してゆく。前向き登録の継続：小児科新患受診者を将来の移行にむけて登録してゆく

(2) 横断的患者アンケート調査 及び CHD 患者家族啓発講演会

・ 横断的患者アンケート調査

対象：九州大学病院先天性心疾患移行外来患者 500 人、JCHO 九州病院先天性心疾患外来 300 人
調査票内容：心理的・社会的問題に関する調査（就学、就業、社会保障、結婚、妊娠・出産、診療科移行についての気持ち）、先天性心疾患に対する認識、健康関連 QOL 調査（SF-8）、不安と抑うつに関する調査（Hospital Anxiety and Depression Scale, HADS）、セルフケア行動に関する調査（ヨーロッパ心不全セルフケア行動尺度日本語版 Ver. 2）を行う。

調査方法：外来受診時に研究の説明の後、同意書をえて自記式調査とする。

調査期間：両施設とも 1 年間、外来受診日に調査を行う事によって目標数を達成できる。

・ 包括的看護支援：福岡市立こども病院、九州大学病院で移行時期が近くなった患者（12-15 歳）に対して移行のための教育セッションを小児専門看護師、臨床心理士、必要に応じて訪問看護師、受け入れ側の成人循環器内科看護師の参加の下に毎月外来受診日に 6 回程度行い円滑な移行に繋げる。その為の専門看護師はすでに養成されている。

・ 患者家族啓発講演会：令和 1 年度後半には開催。令和 2 年度に向け本格的患者啓発講演会の準備を行う。研究結果報告や健康管理の為の講演会を 3 ヶ月毎開催し、前後で効果を評価する。[令和 2・2020 年度]登録患者データ及び横断的患者アンケート調査結果の解析/論文化する。

・ 研究対象：アンケート調査を施行できた九州大学病院の 500 人と JCHO 九州病院の 300 人の成人 CHD 患者を対象としアンケート結果の解析を行う。

・ 解析方法：データベースに登録されている臨床的情報もあわせて意義付けする。診療録の後向き調査結果とアンケート調査内容との関連性を検討する。

4. 研究成果

データベースを利用して、ファロー四徴症の患者における社会的自立、先天性心疾患患者の妊娠中の注意点、心房中隔欠損症における心電図の変化と心病態の重症度などについて研究成果を発表した。

(1) Fallot 四徴症修復術後患者の社会的自立状況と生活習慣の検討

背景：チアノーゼ性成人先天性心疾患の中で頻度の高いファロー四徴症において社会的自立や生活習慣を調査した研究は少なく^{1,2)}、今回、保健指導の基盤を得ることを目的とした。

方法：186 名に質問紙調査（病気や治療に関する理解や不安、社会的自立、生活習慣等）を行い、身体障害者手帳認定の有無で比較した。臨床情報は診療録より抽出した。

結果：有効回答者 112 名（男 41 名、平均 28 歳）の半数が親と同居し学生を除いた 93 名の 83% が就労していた。71% が病気に対する不安をもち、28% は睡眠満足度が低かった。職種では非認定群は専門職が多いが、認定群では事務職が多かった。認定群の医療へのアクセスは高かったが、就労内容や周囲の理解などに不安を持っており習慣飲酒、睡眠導入剤の使用も多い傾向が見られた。

結論：本対象者は比較的高い就労率で社会的自立度も高かったが、様々な不安を抱えており特に心疾患重症度の高い認定群は不安や睡眠障害に対する支援の必要性が示唆された。

(2) 成人先天性心疾患女性のリプロダクティブ・ヘルス向上にむけた妊娠出産に関する予備的調査

背景・目的：近年、先天性心疾患（CHD）患者の多くが成人を迎えることが可能となり^{3,4)}、増加する成人 CHD（ACHD）女性の結婚、妊娠・出産に関する認識を検討した。

方法：ACHD 女性 307 名（20～49 歳）へ心疾患と結婚・妊娠・出産に関する質問紙調査を行い、対象者を身体障害者手帳 1 級取得者而非取得者に分けて比較した。

結果：回答した取得者 53 名、非取得者 36 名の 89 名（有効回答率 29.0%）を対象とした。既婚者は取得者に多く、結婚の希望は非取得者に多い傾向があり、両群共に 80% が「妊娠・出産による心臓の負担」「妊娠前検査の必要性」を認識していた。取得者は、「治療薬の胎児への影響」「心疾患の胎児への遺伝」の認識が高かった。

結論：ACHD 女性は、妊娠・出産による心臓への負担を認識していても、その願望は高く、看護職者や医師が連携して心疾患重症度に応じて妊娠可能性やリスクについて早期からの啓発や継

続支援が必要である。

(3) 先天性心疾患を合併した妊婦の周産期管理について

背景・目的: 妊産婦の高齢化は先天性心疾患を合併している患者においてもその傾向がみられる。安全な周産期管理が必要である^{5,6)}。このために、安全な周産期管理に必要な要因を検討した。方法及び対象: 我々は217例の先天性心疾患合併妊婦(平均出産年齢: 31.4±5.6歳、NYHA分類I、II: 88.9%、7.4%)を後ろ向きに検討した。先天性心疾患重症度分類(American College of Cardiology/American Heart Association guidelines)における simple: 軽症(n=116), moderate complexity: 中等症(n=69), 及び great complexity: 重症(n=32)であった。

結果: 心血管イベント(心不全:n=24, 不整脈:n=9)が30人の妊婦において周産期に発生した。心疾患重症度のレベルが中等症や重症は、軽症よりも有意に多くの心血管イベントが発生していた。また、多胎妊娠、NYHA心機能分類の重症度、先天性心疾患重症度分類が心血管イベントの発生と関連していた。

結語: 本研究で明らかとなった心血管イベントのリスク因子を評価する事によって先天性心疾患合併妊娠をより安全に管理することができる。

(4) 心房中隔欠損症におけるカテーテル閉鎖術後の回復過程における経時的な心電図変化の詳細な検討

背景・目的: 心房細動患者においてカテーテル閉鎖術を施行した後、心エコーや胸部X線写真、等の指標も同時に記録しながら心電図の経時的変化を詳細に検討した。

方法: データベースより100人のカテーテル閉鎖術を施行した心房中隔欠損症患者の臨床的データを抽出し1年間の経過観察を行った。

結果: 100人から心房細動の合併症を起こした5人を除いた95人の術後の経過を1年間観察した。心電図のPQ時間が<200 msecと短い群(正常群、n=51)と≥200 msecのままであった群(延長群、n=44)に分けて臨床経過やエコーの指標、胸部X線写真の心胸郭比やBNP(brain natriuretic protein)を比較した。延長群は正常群に比べて、有意に年齢が高く、発作性心房細動や治療を要する心不全の発症頻度が高かった。また、NYHA心機能分類やBNPも高い傾向が見られた。延長群では有意に完全右脚ブロックや心胸郭比の拡大、心エコーによる右室断面積や左房拡大が有意であった。閉鎖術後にPQ時間の短縮率が短いのは閉鎖術の時期が年長であり心エコー上も右室や左房の拡大の軽減が見られなかった。短縮率の少ない群で発作性心房細動や心不全も多かった。閉鎖術後にPQ短縮が起こらない群は病状が重症化していることが示唆された^{7,8)}。

結語: 臨床検査指標と共に、心電図の変化を詳細に検討することは閉鎖術後の臨床経過の予測因子となることがわかった。心電図経過をきちんと見ることは重要である。

<引用文献>

- 1) 丹羽公一郎, 立野滋, 建部俊介, ほか: 社会的自立の現況と問題点 自立を妨げる要因: 成人期先天性心疾患患者の社会的自立と教育, 保険, 社会保障体系. 日小児循環器会誌 2003; 19: 69-71
- 2) van Rijen EH, Utens EM, Roos-Hesselink JW, et al: Psychosocial functioning of the adult with congenital heart disease: a 20-33 years follow-up. Eur Heart J. 2003; 24: 673-683
- 3) Balci A, Sollie-Szarynska KM, van der Bijl AGL, et al: Prospective validation and assessment of cardiovascular and offspring risk models for pregnant women with congenital heart disease. Heart 2013; 100(17): 1373-1381
- 4) Shiina Y, Toyoda T, Kawasoe Y, Tateno S, Shirai T, Wakisaka Y, et al. Prevalence of adult patients with congenital heart disease in Japan. Int J Cardiol 2011; 146: 13-16.
- 5) Connolly HM. Managing congenital heart disease in the obstetric patient. Semin Perinatol 2018; 42: 39-48.
- 6) Hayward RM, Foster E, Tseng ZH. Maternal and fetal outcomes of admission for delivery in women with congenital heart disease. JAMA Cardiol 2017; 2: 664-671.
- 7) Humenberger M, Rosenhek R, Gabriel H, Rader F, Heger M, Klaar U, Binder T, Probst P, Heinze G, Maurer G, Baumgartner H. Benefit of atrial septal defect closure in adults: impact of age. Eur Heart J 32:553-560, 2011
- 8) Takaya Y, Akagi T, Kijima Y, Nakagawa K, Sano S, Ito H. Long-term outcome after transcatheter closure of atrial septal defect in older patients: impact of age at procedure. JACC Cardiovasc Interv 8:600-606, 2015.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計30件（うち査読付論文 29件／うち国際共著 1件／うちオープンアクセス 19件）

1. 著者名 Sato T, Fujino T, Higo T, Ohtani K, Hiasa K, Sakamoto T, Chishaki A, Shiose A, Tsutsui H.	4. 巻 60(4)
2. 論文標題 Flow Pattern of Outflow Graft is Useful for Detecting Pump Thrombosis in a Patient with Left Ventricular Assist Device	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int.Heart Journal	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1536/ihj.18-600. Epub 2019 Jun 28.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Nagamatsu Y, Satoh M, Toyofuku K, Miyazono M, Chishaki A	4. 巻 110(1)
2. 論文標題 Medication Adherence among Colorectal Cancer Patients Receiving postoperative adjuvant Chemotherapy: a longitudinal Study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Fukuoka Acta Medica	6. 最初と最後の頁 24-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Nao T, Rahmawati A, Nishizaka M, Sawatari H, Moriyama N, Chishaki A, Ando S, Ohkusa T.	4. 巻 18(1)
2. 論文標題 Prevalence of sleep-disordered breathing in Japanese children: efficiency of screening with nocturnal pulse oximetry	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sleep and Biological Rhythms	6. 最初と最後の頁 37 47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41105-019-00242-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Yamasaki K, Sawatari H, Kanagai N, Kamiya C, Yoshimatsu J, Muneuchi J, Watanabe M, Fukuda T, Mizuno A, Sakamoto I, Yamamura K, Ohkusa T, Tsutsui H, Niwa K, Chishaki A.	4. 巻 8 3
2. 論文標題 Peripartum management of pregnant women with congenital heart disease.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Circ J	6. 最初と最後の頁 2257 2264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-19-0369	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sawatari H, Chishaki A, Nishizaka M, Miyazono M, Tokunou T, Magota C, Yamamoto U, Shimizu Handa A, Ando S.	4. 巻 35(6)
2. 論文標題 Accumulated Nocturnal Hypoxemia Predict Arterial Endothelial Function in Patients with Sleep-disordered Breathing with or without Chronic Heart Failure	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Heart and Vessels	6. 最初と最後の頁 800-807
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00380-020-01557-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawai S, Mukai Y, Inoue S, Yakabe D, Nagaoka K, Sakamoto K, Takase S, Chishaki A, Tsutsui H.	4. 巻 9
2. 論文標題 Non-Pulmonary Vein Triggers of Atrial Fibrillation Are Likely to Arise from Low-Voltage Areas in the Left Atrium	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-48669-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hill Elizabeth A., Sawatari Hiroyuki, Nishizaka Mari K., Fairley Donna M., Chishaki Akiko, Funakoshi Kouta, Riha Renata L., Ando Shin-ichi	4. 巻 125(4)
2. 論文標題 A Cross-Sectional Comparison of the Prevalence of Obstructive Sleep Apnea Symptoms in Adults With Down Syndrome in Scotland and Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 American Journal on Intellectual and Developmental Disabilities	6. 最初と最後の頁 260 ~ 273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1352/1944-7558-125.4.260	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kang Min-Jeong, Sawatari Hiroyuki, Chishaki Hiroaki, Shinbara Ryoji, Yamasaki Keiko, Sato Tasuku, Fujita Kanae, Sakamoto Ichiro, Hiasa Ken-ichi, Ishikita Ayako, Umemoto Shintaro, Nishizaka Mari, Tsutsui Hiroyuki, Kamiya Chizuko A., Niwa Koichiro, Chishaki Akiko	4. 巻 35(11)
2. 論文標題 Elaborate evaluation of serial changes in electrocardiograms of atrial septal defects after transcatheter closure for a better understanding of the recovery process	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Heart and Vessels	6. 最初と最後の頁 1594 ~ 1604
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00380-020-01632-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita Y , Izukura R , Miyazono M , Nagai S , Oki E ,Kanaoka M, Nakao H , Chishaki A , Mibu R.	4. 巻 79
2. 論文標題 Effect of age factors on health-related quality of life in patients with lowerrectal cancer after sphincter-saving surgery: A 1-year longitudinal study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 185-191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2018.09.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kodani E, Atarashi H, Inoue H, Okumura K, Yamashita T, Origasa H, (Chishaki A)on behalf of the J-RHYTHM Registry Investigators.	4. 巻 4
2. 論文標題 Impact of creatine clearance on outcome in patients with non-valvular atrial fibrillation: a subanalysis of the J-RHYTHM Registry.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Heart Journal-Quality of are and Clinical Outcome	6. 最初と最後の頁 59-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ehjqcco/qcx032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue H, Kodani E, Atarashi H, Okumura K, Yamashita T, Okuyama Y, Origasa H; (Chishaki A)J-RHYTHM Registry Investigators	4. 巻 82
2. 論文標題 Time in therapeutic range and disease outcomes in elderly Japanese patients with nonvalvular atrial fibrillation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Circ J	6. 最初と最後の頁 2277-2283
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-18-0587	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue H, Kodani E, Atarashi H, Okumura K, Yamashita T, Origasa H, (Chishaki A) J-RHYTHM Registry Investigators.	4. 巻 82
2. 論文標題 Renal dysfunction affects anticoagulation control with warfarin and outcomes in Japanese elderly patients with non-valvular atrial fibrillation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Circ J	6. 最初と最後の頁 2277-2283
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-18-0242	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kodani E, Atarashi H, Inoue H, Okumura K, Yamashita T, Otsuka T, Tomita H, Origasa H; (Chishaki A) J RHYTHM Registry Investigators.	4. 巻 5
2. 論文標題 Impact of blood pressure control on thromboembolism and major hemorrhage in patients with nonvalvular atrial fibrillation: a subanalysis of the J-RHYTHM Registry	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Am Heart Assoc.	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/JAHA.116.004075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawai S, Mukai Y, Inoue S, Yakabe D, Nagaoka K, Sakamoto K, Takase S, Chishaki A, Tsutsui H	4. 巻 35
2. 論文標題 Predictive value of the induction test with atrial burst pacing with regard to long-term recurrence after ablation in persistent atrial fibrillation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Arrhythmia	6. 最初と最後の頁 223-229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/joa3.12150	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toyofuku K, Nagamatsu Y, Miyazono M, Tanaka T, Moriyama T, Fujisawa K, Ohuchida K, Nagai E, Nakamura M, Chishaki A	4. 巻 111
2. 論文標題 Changes in Eating Behaviors and Physical and Mental State of Gastric Cancer Patients during the First 6 Months after Surgery	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Fukuoka Acta Med	6. 最初と最後の頁 26~42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/3054000	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa Taisuke, Mishima Hiroyuki, Barc Julien, Takahashi Masanori P., Hirono Keiichi, Terada Shigenori, Kowase Shinya, Sato Teruki, Mukai Yasushi, Yui Yoshiaki, Ohkubo Kimie, Kimoto Hiroki, Watanabe Hiroyuki, Hata Yukiko, Aiba Takeshi, Ohno Seiko, Chishaki Akiko	4. 巻 13
2. 論文標題 Cardiac Emerinopathy: A Nonsyndromic Nuclear Envelopathy With Increased Risk of Thromboembolic Stroke Due to Progressive Atrial Standstill and Left Ventricular Noncompaction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Circulation: Arrhythmia and Electrophysiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/circep.120.008712	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mukai Yasushi, Kawai Shunsuke, Inoue Shujiro, Takase Susumu, Sakamoto Kazuo, Nagaoka Kazuhiro, Chishaki Akiko, Tsutsui Hiroyuki	4. 巻 37
2. 論文標題 Bigeminal potentials in the pulmonary vein indicate arrhythmogenic trigger of atrial fibrillation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Arrhythmia	6. 最初と最後の頁 331 ~ 337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/joa3.12462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuzaka Yu, Aoki-Kamiya Chizuko, Yokouchi-Konishi Tae, Shionoiri Tadasu, Nakanishi Atsushi, Iwanaga Naoko, Chishaki Akiko, Kurosaki Kenichi, Ohuchi Hideo, Yoshimatsu Jun	4. 巻 4
2. 論文標題 Breastfeeding and postpartum outcomes among women with congenital heart disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Cardiology Congenital Heart Disease	6. 最初と最後の頁 100167 ~ 100167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijcchd.2021.100167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 TAKETOMI Kikuko, ITO Yoichi M., TOKUNAGA Eriko, HIRANO Yuko O., FUJINO Yuriko, CHISHAKI Akiko	4. 巻 59
2. 論文標題 Developing a questionnaire on the quality of working life for female medical and healthcare professionals	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Industrial Health	6. 最初と最後の頁 371 ~ 382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2486/indhealth.2020-0257	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujita Kanae, Chishaki Hiroaki, Ando Shin-ichi, Chishaki Akiko	4. 巻 20
2. 論文標題 Sex differences in the effectiveness and affecting factors to adherence of continuous positive airway pressure therapy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sleep and Biological Rhythms	6. 最初と最後の頁 191 ~ 200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41105-021-00355-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai Shunsuke, Mukai Yasushi, Inoue Shujiro, Yakabe Daisuke, Nagaoka Kazuhiro, Sakamoto Kazuo, Takase Susumu, Chishaki Akiko, Tsutsui Hiroyuki	4. 巻 33
2. 論文標題 Location and coupling interval of an ectopic excitation determine the initiation of atrial fibrillation from the pulmonary veins	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Cardiovascular Electrophysiology	6. 最初と最後の頁 629 ~ 637
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jce.15371	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto Kazuo, Mukai Yasushi, Kawai Shunsuke, Nagaoka Kazuhiro, Inoue Shujiro, Takase Susumu, Yakabe Daisuke, Ikeda Shota, Mannoji Hiroshi, Nagayama Tomomi, Chishaki Akiko, Tsutsui Hiroyuki	4. 巻 17
2. 論文標題 Intra-atrial activation pattern is useful to localize the areas of non-pulmonary vein triggers of atrial fibrillation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0264894
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0264894	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山崎啓子, 井上彩香, 澤渡浩之, 吉本祐子, 坂本一郎, 山村健一郎, 新原亮史, 谷口初美, 樺木晶子	4. 巻 38(2)
2. 論文標題 成人先天性心疾患女性のリプロダクティブ・ヘルス向上にむけた妊娠出産に関する予備的調査	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本小児循環器学会雑誌	6. 最初と最後の頁 105 ~ 114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Tasuku, Sakamoto Ichiro, Hiasa Ken-ichi, Kawakubo Masateru, Ishikita Ayako, Umamoto Shintaro, Kang Min-Jeong, Sawatari Hiroyuki, Chishaki Akiko, Shigeto Hiroshi, Tsutsui Hiroyuki	4. 巻 39
2. 論文標題 High-echoic line tracing of transthoracic echocardiography accurately assesses right ventricular enlargement in adult patients with atrial septal defect	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The International Journal of Cardiovascular Imaging	6. 最初と最後の頁 87 ~ 95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10554-022-02712-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita Yumiko, Izukura Rieko, Kishimoto Junji, Kanaoka Maki, Fujita Hayato, Ando Koji, Nagai Shuntaro, Akiyoshi Sayuri, Tagawa Tetsuzo, Kubo Makoto, Inokuchi Junichi, Ohuchida Kenoki, Oki Eiji, Tanaka Kentaro, Eto Masatoshi, Yoshizumi Tomoharu, Nakamura Masafumi, Chishaki Akiko	4. 巻 -
2. 論文標題 Reliability, validity, and responsiveness of the Japanese version of the EORTC QLQ-ELD14 in evaluating the health-related quality of life of elderly patients with cancer	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Cancer Research and Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00432-022-04414-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawatari Hiroyuki, Rahmawati Anita, Moriyama Nobuko, Fujita Kanae, Ohkusa Tomoko, Nao Tomoko, Hashiguchi Nobuko, Nishizaka Mari, Ando Shin-ichi, Chishaki Akiko	4. 巻 4
2. 論文標題 Characteristics of sleep-disordered breathing in children with down syndrome - A comparison with typically developing children	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sleep Medicine: X	6. 最初と最後の頁 100045 ~ 100045
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.sleepx.2022.100045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計105件 (うち招待講演 6件 / うち国際学会 12件)

1. 発表者名 榑木晶子
2. 発表標題 閉経後高血圧について
3. 学会等名 第8回臨床高血圧フォーラム シンポジウム 3
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田香奈恵、榑木晶子、橋口暢子、宮園真美、澤渡浩之、山崎啓子、姜 旻廷、森山宣子、西坂麻里、安藤眞一
2. 発表標題 閉そく性睡眠時無呼吸を伴う循環器疾患患者の特性と持続陽圧呼吸治療アドヒアランス の検討
3. 学会等名 第55回日本循環器病予防学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤翼、坂本一郎、石北綾子、坂本隆史、内野紗織、神谷登紀子、堤真希、花田麻美、河原吾郎、大竹沙矢香、伊藤真美、平川加寿美、河村美希、日浅謙一、榑木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 Apico-Aortic conduit Bypass 術後の残存大動脈弁逆流の重症度評価に苦慮した一症例.
3. 学会等名 心エコー学会第30回学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 榑木晶子
2. 発表標題 私たちのダイバーシティに向けて
3. 学会等名 第113回日本消化器病学会九州支部例会 女性医師の会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤渡浩之、榑木晶子、安藤真一
2. 発表標題 睡眠呼吸障害を合併する慢性心不全患者における低酸素血症の蓄積と血管内皮障害との関
3. 学会等名 第34回心電情報処理ワークショップ、第29回体表心臓小電位研究会、第16回心電図伝送システム研究会 合同集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤渡 浩之、孫田 千恵、中村 亮、荒川 剛、林 克美、田中 薫 門上 俊之、榑木 晶子、安 藤真一
2. 発表標題 睡眠呼吸障害を合併している心収縮能が保たれた心不全患者における夜間頻尿が及ぼす Quality of Life への影響
3. 学会等名 日本睡眠学会第44回定期学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田香奈恵、榑木晶子、橋口暢子、澤渡浩之、姜旻廷、森山宣子、西坂麻里、安藤眞一
2. 発表標題 閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者の持続陽圧呼吸(CPAP)治療アドヒアランスにおける年齢層別の検討.
3. 学会等名 日本睡眠学会第44回定期学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山崎啓子、榑木晶子
2. 発表標題 成人を迎えた先天性心疾患女性のリプロダクティブヘルス/ライツに基づく看護支援
3. 学会等名 日本小児循環器学会 第55 回日本小児循環器学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長岡和宏、向井靖、河合俊輔、坂本和生、坂本一郎、石北綾子、林谷俊児、榑木晶子、筒井 裕之
2. 発表標題 Twin AV nodeを介する回帰性頻拍に対してカテーテルアブレーションを施行した修正大血管転移症の一例
3. 学会等名 第126回日本循環器学会九州地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 榑木晶子
2. 発表標題 ダイバーシティ推進と連動した医師の働き方改革をめざして
3. 学会等名 JCRミッドナイトサマーセミナー(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroko Deguchi, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Shunsuke Kawai, Ichiro Sakamoto, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Establishment of a Transvenous Atrial Pacing Lead in a Patient with TPC-Fontan Circulation
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Does Left Atrial Low Voltage Area Extend within a Year?
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasushi Mukai, Nobuhiro Honda, Kazuo Sakamoto, Kenji Sadamatsu, Hideki Tashiro, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Epicardial Conductions between the Vein of Marshall, the Left Atrium, and the Left Pulmonary Vein Were Eliminated by Endocardial Catheter Ablation
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Predictors for the Improvement of Cardiac Function and Clinical Outcomes after Catheter Ablation of Atrial Fibrillation in Patients with Systolic Dysfunction
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shota Ikeda, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Clinical Characteristics in Asymptomatic Versus Symptomatic Patients with Atrial Fibrillation Undergone Catheter Ablation
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satomi Imakiire, Yasushi Mukai:1, Kazuhiro Nagaoka:1, Shunsuke Kawai:1, Kazuo Sakamoto:1, Akiko Chishaki:1, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 A Case of Radiofrequency Catheter Ablation for Ventricular Tachycardia under the Support of Impella Ventricular Support System
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Efficacy of Pulmonary Vein Isolation Alone in Persistent Atrial Fibrillation in Consideration of Voltage Mapping
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Nagaoka Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Characterization of Atrial Functional Mitral Regurgitation in Patients with Atrial Fibrillation
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryoko Yada, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Shunsuke Kawai, Kazuo Sakamoto, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsu
2. 発表標題 Detailed Mapping by Novel Multipolar HD Grid Catheter in the Case of Localized Reentry in Atrial Tachycardia
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoko Shojima, Yasushi Mukai, Shota Ikeda, Shunsuke Kawai, Ayako Ishikita, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Ichiro Sakamoto, Shunji Hayashidani, Akiko Chisyaki:1, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Successful Catheter Ablation of Atrial Tachycardia in a Patient with Surgically Corrected Complete Atrioventricular Septal Defect, with Inferior Vena Cava Defect and Dextrocardi
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuo Sakamoto, Yoshitomo Tsutsui, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Shunsuke Kawai, Ryoko Mori, Shouta Ikeda, Daisuke Yakabe, Shuujirou Inoue, Akiko Chisyaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Inconsistent Left Atrial Voltage Map Obtained Either by a Duo-Decapolar Spiral Catheter or a Novel Omnipolar, Directionality Accounted Catheter (HD-Grid) in Atrial Fibrillation
3. 学会等名 第66回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 樽木晶子
2. 発表標題 循環器医療での働き方：現状と課題
3. 学会等名 第67回日本心臓病学会学術集会/男女共同参画委員会セッション
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 樽木晶子
2. 発表標題 質の高い循環器医療を確保していくための働き方改革とは「持続可能な医療を目指した医師の働き方を一考する」
3. 学会等名 第67 回日本心臓病学会学術集会 男女共同参画委員会セッション
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高瀬進、西村遼平、坂本和生、阿部弘太郎、林谷俊児、向井靖、樽木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 先天性 QT 延長症候群に合併したRVOT-PVC triggered polymorphic VT に対してカテーテルアブレーションを施工した症例
3. 学会等名 カテーテルアブレーション関連秋季大会2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮田潤子、貝沼茂三郎、入江敬子、樽木晶子
2. 発表標題 発達障害に伴う排泄障害に漢方治療が奏功した4例
3. 学会等名 第45回日本東洋医学会九州支部学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 樽木晶子
2. 発表標題 医師の働き方から見た女性医師支援
3. 学会等名 鹿児島大学病院院内講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 樽木晶子
2. 発表標題 「医療現場のことや命の尊さ、大学生の指導に関すること、女子中高生に期待すること」
3. 学会等名 筑紫女学園中学校・高等学校「誠道会法要」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Shota Ikeda, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui Morphological
2. 発表標題 Mechanisms of Atrial Functional Mitral Regurgitation in Patients with Atrial Fibrillation
3. 学会等名 ESC (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto,
2. 発表標題 Clinical predictors for the improvement of left ventricular ejection fraction and prognosis after catheter ablation of atrial fibrillation in patients with systolic dysfunction
3. 学会等名 ESC (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Koutaro Abe, Shunji Hayashidani, Yasushi Mukai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Successful Catheter Ablation of Fascicular Ventricular Tachycardia Originating from Posterior Papillary Muscle: experience in two cases
3. 学会等名 APHRS2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuo Sakamoto, Susumu Takase, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Takahiro Watanabe, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsu
2. 発表標題 The impact of stepwise intervention of catheter ablation and transcatheter closure for atrial septal defect patients complicated with atrial fibrillation
3. 学会等名 APHRS2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, Shujiro Inoue, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Morphological Characteristics in Atrial Functional Mitral Regurgitation in Patients with Atrial Fibrillation.
3. 学会等名 APHRS2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 樽木晶子
2. 発表標題 デバイス患者のQOL向上を目指して
3. 学会等名 第12回植込みデバイス関連冬季大会 シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 樽木晶子
2. 発表標題 「働き方改革の中での女性医師支援」
3. 学会等名 令和元年度福岡県医師会勤務医部会・男女共同参画部会合同研修会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yasuko Yoshioka,Hiroyuki Sawatari, Shinichi Ando,Nobuko Moriyama, Akiko Chishaki, Anita Rahmawati, Mari Nishizaki,Hiromi Kuroda
2 . 発表標題 Age Dependent Risk Factors of Sleep-disordered Breathing School Age to Adolence Down Syndrome People
3 . 学会等名 国際小児睡眠学会 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nobuko Moriyama , Hiroyuki Sawatari , Akiko Chishaki , Anita Rahmawati , Mari Nishizaka , Nobuko Hashiguchi , Hiromi Kuroda , Shin-ichi Ando.
2 . 発表標題 Age and Sex Impact on Symptoms of Sleep-disordered Breathing in People with Down Syndrome -A Nation-wide Study in Japan-
3 . 学会等名 Sleep2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Min-jeong Kang, Ichiro Sakamoto, Hiroyuki Sawatari, Tomoaki Kouho, Keiko Yamasaki, Shintaro Umemoto, Kohtaro Abe, Kenichi Hiasa, Tomomi Ide, Mari Nishizaka, Kenichiro Yamamura, Yoshihiko Kodama, Shiro Ishikawa, Ryoji Shinbara, Hiroaki Chishaki, Hiroyuki Tsutsui, Akiko Chishaki.
2 . 発表標題 Serial electrocardiographic changes after transcatheter closure of atrial septal defects
3 . 学会等名 ICE 国際心電学会 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Mami Miyazono, Akiko Chishaki, Aya Oho, Anita Rahmawati, Miyuki Tsuchihashi-Makaya, Hiroyuki Sawatari, Nobuko Hashiguchi, Harumizu S.
2 . 発表標題 Different quality of life and psychological tendency of implantable cardioverter defibrillator patients with or without organic heart diseases.
3 . 学会等名 ICE 国際心電学会 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Anita Rahmawati, Akiko Chishaki, Mami Miyazono, Hiroyuki Sawatari, Nobuko Hashiguchi, Miyuki Tsuchihashi-Makaya, Mori Nakai, MD, Harumizu Sakurada, Masao Takemoto, Yasushi Mukai, Shujiro Inoue, Hiroaki Chishaki.
2. 発表標題 Sex disparities on psychological responses among implantable cardioverter defibrillator patients with underlying heart diseases.
3. 学会等名 ICE 国際心電学会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Keiko Yamasaki, Hiroyuki Sawatari, Nao Konagai, Chizuko Kamiya, Jun Yoshimatsu, Jun Muneuchi, Mamie Watanabe, Terunobu Fukuda, Atsushi Mizuno, Ichiro Sakamoto, Kenichiro Yamamura, Tomoko Ohkusa, Hiroyuki Tsutsui, Koichiro Niwa, Akiko Chishaki
2. 発表標題 Predictors of cardiovascular events in pregnant women with congenital heart disease
3. 学会等名 ESC2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Syunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Kazuhiro Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Circumferential conduction delay within the pulmonary veins(PV) rather than the PV-LA conduction delay has a key role in the onset of atrial fibrillation-A quantitative analysis.
3. 学会等名 ESC2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 樽木晶子
2. 発表標題 心房細動と健康寿命
3. 学会等名 第54回日本循環器病予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮園真美、澤渡浩之、橋口暢子、榑木晶子
2. 発表標題 健常高齢女性の冷え症状、睡眠、および血管内皮機能に対する下肢加温2ヶ月連続使用の効果
3. 学会等名 第54回日本循環器病予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 榑木晶子
2. 発表標題 それぞれの立場での循環器病と健康寿命「心房細動と健康寿命」
3. 学会等名 第54回日本循環器病予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森山宣子、榑木晶子、澤渡浩之、西坂麻里、ラハマワティ アニタ、宮園真美、橋口暢子、大草知子、名尾朋子、安藤眞一
2. 発表標題 先天性心疾患合併の多いダウン症児における睡眠呼吸障害の検討 - 非ダウン症児との比較
3. 学会等名 第54回日本循環器病予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤渡浩之、榑木晶子、西坂麻里、ラハマワティ アニタ、森山宣子、宮園真美、橋口暢子、黒田裕美、安藤眞一
2. 発表標題 学童期のダウン症者における年齢による睡眠呼吸障害とその危険因子の違い
3. 学会等名 第54回日本循環器病予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢加部 大輔、向井 靖、河合 俊輔、長岡 和宏、樺木 晶子、筒井 裕之
2. 発表標題 発作性心房細動のアブレーション中にSVC tachycardiaを認めた一例
3. 学会等名 第124回日本循環器学会九州地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐田 政司、向井 靖、河合 俊輔、長岡 和宏、樺木 晶子、筒井 裕之
2. 発表標題 多数のトリガーを認め、これらを治療標的とした長期持続性心房細動の一例
3. 学会等名 第124回日本循環器学会九州地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本泰史、向井靖、矢加部大輔、河合俊輔、長岡和宏、樺木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 発火部位を網羅した線状焼灼 (designated linear ablation) が有効であった非肺 静脈起源心房細動の症例
3. 学会等名 第124回日本循環器学会九州地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長岡和宏、向井靖、佐田政司、山本泰史、矢加部大輔、河合俊輔、樺木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 心房細動患者における周術期血栓塞栓症の検討
3. 学会等名 第124回日本循環器学会九州地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河合俊輔、向井靖、矢加部大輔、長岡和宏、樺木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 カテーテルアブレーションおよびCRTが有効だった心房細動合併心不全症例
3. 学会等名 第124回日本循環器学会九州地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 出口裕子、向井靖、坂本 郎、長岡和宏、矢加部大輔、河合俊輔、樺木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 CRAO5フォンタン術後患者の心房細動に対してカテーテルアブレーション治療を行なった症例
3. 学会等名 第124回日本循環器学会九州地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山崎啓子、澤渡浩之、平方多美子、宗内淳、坂本一郎、新原亮史、樺木晶子
2. 発表標題 16歳以上の先天性心疾患患者のセルフケア能力とQOLの検討
3. 学会等名 第54回小児循環器学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 名尾朋子、ラハマワティ アニタ、森山宣子、西坂麻里、澤渡浩之、樺木晶子、安藤眞一、大草知子
2. 発表標題 小児睡眠呼吸障害のスクリーニングについて - パルスオキシメータ - 検査を用いた検討 -
3. 学会等名 日本睡眠学会第43回定期学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤渡浩之、榑木晶子、西坂麻里、ラハマワティ アニタ、橋口暢子、黒田裕美、安藤眞一
2. 発表標題 ダウン症者における加齢に伴う睡眠呼吸障害危険因子の推移
3. 学会等名 日本睡眠学会第43回定期学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本雲平、孫田千恵、澤渡浩之、中村亮、荒川剛、林克美、田中薫、門上俊明、榑木晶子、安藤眞一
2. 発表標題 循環器入院患者における過活動性膀胱と睡眠呼吸障害に関する検討
3. 学会等名 日本睡眠学会第43回定期学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 孫田千恵、安藤眞一、西坂麻里、澤渡浩之、門上俊明、中村亮、畑島皓、荒川剛、田中薫、林克美、榑木晶子
2. 発表標題 循環器内科入院患者の睡眠障害とQOLの検討
3. 学会等名 日本睡眠学会第43回定期学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森山宣子、大草知子、名尾朋子、澤渡浩之、橋口暢子、宮園真美、ラハマワティ アニタ、姜旻廷、藤田香奈恵、西坂麻里、安藤眞一、榑木晶子
2. 発表標題 簡易睡眠検査を用いたダウン症児と健常児における睡眠呼吸障害の検討
3. 学会等名 日本睡眠学会第43回定期学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Daisuke Yakabe, Yasushi Mukai, Nobuyuki Enzan, Hidetaka Kaku, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Tomomi Ide, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Prognosis after CRT Implantation in Patients with Inotrope-dependent Heart Failure.
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soichiro Kashihara, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Hiroko Deguchi, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 A Simultaneous Isolation of Left PV with a "Crosstalk" Phenomenon during Cryoballoon AF Ablation.
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Daisuke Yakabe, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 A Case of Heart Failure Due to Persistent AF and LBBB Treated with a Hybrid Therapy of Catheter Ablation and CRT.
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Soichiro Kashihara, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Radiofrequency Catheter Ablation for Paroxysmal Atrial Fibrillation Via Jugular Vein in Patient with Occluded Inferior Vena Cava.
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Soichiro Kashihara, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Designated Linear Ablation Targeting Non-Pv Foci and Low Voltage Areas Can be an Effective Strategy for Refractory Atrial Fibrillation.
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Soichiro Kashihara, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Usefulness of the Ripple Mapping for Defining Slow Conduction Isthmus in Catheter Ablation of Macroreentrant Atrial Tachycardia
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroko Deguchi, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Ichiro Sakamoto, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Catheter Ablation of Atrial Fibrillation in a Patient with Total Cavo-pulmonary Connection
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Kazuhiro Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Does the Atrial Low Voltage Areas Extend in a Few Months Under Persistence of AF?
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Kazuhiro Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui.
2. 発表標題 Comparison of Left Atrial Voltage Mapping Using a Duodecapolar Ring Catheter versus a Pentaray Catheter in Patients with Atrial Fibrillation
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masashi Sada, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Susumu Takase, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Optimal Periprocedural Anticoagulation for Catheter Ablation of Atrial Fibrillation in the DOAC Era
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soichiro Kashihara, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Hiroko Deguchi, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 Mapping and Ablation of Macroreentrant Atrial Tachycardia after Cardiac Surgery with Rhythmia Electroanatomic Mapping System
3. 学会等名 第65回日本不整脈心電学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河合俊輔、向井靖、池田翔大、長岡和宏、坂本和生、樽木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 心房細動発生部位としての肺静脈起源の電気生理学的検討
3. 学会等名 第28回九州不正脈研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山崎啓子、榑木晶子
2. 発表標題 成人先天性心疾患患者のケア～看護師の役割～
3. 学会等名 第66回日本心臓病学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河合俊輔、向井靖、矢加部大輔、長岡和宏、榑木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 経力カテーテルアルコール心筋焼灼術（PYSMA）と肺静脈隔離術のハイブリッド治療が著効した心房細動合併閉塞性肥大型心筋症の2例
3. 学会等名 第66回日本心臓病学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 榑木晶子、山崎啓子、神谷千津子、丹羽公一郎
2. 発表標題 Pregnancy in the woman with adult congenital heart diseases (成人先天性心疾患と妊娠)
3. 学会等名 第22回日本心不全学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤翼、坂本隆史、内野紗織、日浅謙一、堤真希、花田麻美、河原吾郎、大竹沙矢香、榑木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 右鎖骨上窩アプローチにて 超重症大動脈弁狭窄症と 診断できた高齢女性の一例
3. 学会等名 日本超音波医学会第28回九州地方会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河合俊輔、向井靖、長岡和宏、池田翔大、矢加部大輔、坂本和生、樽木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 心房細動発生部位としての背條若期限の電気整理学的検討
3. 学会等名 Catheter Ablation 2018 (カテーテルアブレーション関連秋季大会2018)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 庄島耀子、向井靖、池田翔大、河合俊輔、石北綾子、長岡和宏、坂本和生、坂本一郎、林谷俊児、樽木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 両側上大静脈、下大静脈欠損、右胸心、房室中隔欠損症術後の心房頻拍にアブレーションが有効であった1例
3. 学会等名 第125回日本循環器学会九州地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長岡和宏、向井靖、今給黎智美、池田翔大、河合俊輔、坂本和生、樽木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 急性心筋梗塞後の無脈性心室頻拍に対し、Impella挿入下のアブレーションが奏功した一例
3. 学会等名 第31回心臓性急死研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 樽木晶子
2. 発表標題 不整脈の見分け方と抗凝固薬
3. 学会等名 第2回薬医連携研究会セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田香奈恵、榑木晶子、弘中愛美、姜旻廷、西坂麻里、安藤眞一
2. 発表標題 閉そく性睡眠時無呼吸患者における持続性陽圧呼吸（CPAP）治療継続の検討 -心疾患合併の有無による違い-
3. 学会等名 2019年生体工学会九州支部学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 姜旻廷, 澤渡浩之, 皇甫智明, 山崎啓子, 新原亮史, 藤田佳奈恵, 坂本一郎, 日浅謙一, 筒井裕之, 榑木浩朗, 榑木晶子
2. 発表標題 心房中隔欠損症(ASD)患者における経カテーテル閉鎖術前後の心指標の変化と看護支援に関する検討
3. 学会等名 第83回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山崎啓子、澤渡浩之、新原亮史、姜旻廷、藤田香奈恵、宗内淳、坂本一郎、榑木晶子
2. 発表標題 成人を迎えた先天性心疾患（CHD）患者と家族のQOLに基づく看護支援の検討
3. 学会等名 第83回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河合俊輔、向井靖、中岡和宏、坂本和生、井上修二郎、矢加部大輔、池田翔太、榑木晶子、筒井裕之
2. 発表標題 Clinical Predictors of Left Atrial Low Voltage Area in Patients with Atrial Fibrillation
3. 学会等名 第83回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	河合俊輔、向井靖、中岡和宏、坂本和生、井上修二郎、矢加部大輔、池田翔太、樽木晶子、筒井裕之
2. 発表標題	Presence of Low Voltage Area Predicts Atrial Fibrillation Inducibility with Atrial Burst Pacing following Pulmonary Vein Isolation.
3. 学会等名	第83回日本循環器学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	佐藤翼、坂本一郎、日浅 謙一、坂本隆史、梅本真太郎、澤渡 浩之、姜旻廷、藤田香奈恵、森山 宣子、筒井 裕之、樽木 晶子
2. 発表標題	心房中隔欠損症患者における経胸壁心エコーで測定した右室拡張末期面積と心臓MRIから得られた右室拡張末期容積の相関についての検討
3. 学会等名	第83回日本循環器学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	長岡和宏、向井靖、河合俊輔、坂本和生、井上 修二郎、矢加部大輔、池田翔太、樽木 晶子、筒井 裕之
2. 発表標題	Morphological Characteristics of Atrial Functional Mitral Regurgitation in Patients with Atrial Fibrillation
3. 学会等名	第83回日本循環器学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Daisuke Yakabe, Yasushi Mukai , Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Hidetaka Kaku, Takeo Fujino, Kisho Ohtani, Taiki Higo, Toru Hashimoto, Tomomi Ide, Akiko Chishaki, Yoshihisa Tanoue, Akira Shiose, HiroyukiTsumtsui
2. 発表標題	Duration of Heart Failure History and Enlarged Left Ventricle are Associated with Ventricular Arrhythmia after LVAD Implantation
3. 学会等名	第83回日本循環器学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 Kazuo Sakamoto, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Shota Ikeda, Shujiro Inoue, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui
2. 発表標題 A Simple Criteria by Intra-atrial Activation Sequence to Localize Non-pulmonary Vein Foci during Catheter Ablation for Atrial Fibrillation
3. 学会等名 第83回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyuki Sawatari, Anwar Chahal, Brady Peter, Gersh Bernard, Nkomo Vuyisile, Akiko Chishaki, Shin-Ichi Ando, Pellikka Patricia, Somers Virend
2. 発表標題 Intermittent Hypoxemia Due to Sleep-disordered Breathing: Relationship to Atrial
3. 学会等名 第83回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永吉絹子、榑木晶子、藤田逸人、永井俊太郎、武富貴久子、藤野ユリ子、中村雅史、赤司浩一、石橋達
2. 発表標題 ダイバーシティ時代の女性医師の育成と支援～九州大学病院のキャリア支援策と当科における女性外科医師支援の現状と取り組み～
3. 学会等名 2020日本外科学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤 翼, 坂本 一郎, 日浅 謙一, 坂本 隆史, 梅本 真太郎, 澤渡 浩之, 姜 旻廷, 藤田 香奈恵, 森山 宣子, 筒井 裕之, 榑木 晶子
2. 発表標題 経胸壁心エコーは心房中隔欠損症における右室容積を過小評価する～心臓MRI を用いた検討～
3. 学会等名 第84回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 榑木晶子
2. 発表標題 日本循環器学会の取り組み
3. 学会等名 第14回日本性差医学・医療学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宮田潤子、橋口暢、貝沼茂三郎、金岡麻希、近藤琢也2、入江敬子、田尻達郎、濱田正美、榑木晶子
2. 発表標題 看護師の漢方医学への関心とセルフケアに関する調査研究（第2報）
3. 学会等名 東洋医学学会発表
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 錦谷 まりこ、城戸 瑞穂、中川 朋子、安元 佐和、守屋 普久、川波 祥子、武富 貴久子、藤野 ユリ子、永吉 絹子、伊豆倉 理江子、加藤 聖子、中島 直樹、榑木 晶子
2. 発表標題 大学病院における医療職者の働き方と健康・安全との関係
3. 学会等名 第37回ストレス学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 榑木晶子
2. 発表標題 健診センターの活動と福岡看護大学大学院設置
3. 学会等名 第48回福岡歯科大学総会・学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 畠山純子 谷口奈央、松崎英津子、吉永泰司、濱中一平、牧野路子、堤貴司、谷口祐介、大曲紗生、山本繁、米田雅裕、樽木晶子
2. 発表標題 福岡歯科大学健診センターによる学校歯科健診における高校生アンケート調査
3. 学会等名 第48回福岡歯科大学総会・学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 米田雅裕、畠山純子、谷口奈央、松崎英津子、吉永大周、濱中一平、谷口祐介、堤貴司、牧野路子、大城希美子、宮園祥爾、佐々木三奈、馬場篤子、高田俊輔、永井淳、阿南壽、樽木晶子
2. 発表標題 新規開発口腔健診用QRFライトの有効性確認－臨床研修歯科医に関する調査
3. 学会等名 第48回福岡歯科大学総会・学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 樽木晶子
2. 発表標題 現役の不整脈薬物治療
3. 学会等名 第15回日本性差医学・医療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 本江純子、樽木晶子、富岡智子、神谷千津子
2. 発表標題 JJC Pioneersに聞く！これからの私たちの進む道
3. 学会等名 第86回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 榑木晶子
2. 発表標題 子育ては感謝のきもちで ~女性医師達の奮闘の果てに見えたもの~
3. 学会等名 宮崎県産婦人科医会・宮崎県産科婦人科学会 秋季定時総会・市民公開講座（招待講演）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akiko Chishaki
2. 発表標題 Survey on healthcare professionals' working style and health and safety
3. 学会等名 Kyushu University Asia Week 2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 榑木晶子
2. 発表標題 多職種連携による口腔と全身の健康を目指した健康診断の取組み
3. 学会等名 ジャパンオーラルヘルス学会第24回学術大会（招待講演）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉永泰周、米田雅裕、谷口奈央、松崎英津子、畠山純子、濱中一平、堤貴司、谷口祐介、大城希美子、大曲紗生、山本繁、晴佐久悟、榑木晶子
2. 発表標題 高等学校における歯周疾患の健診結果通知による影響と関連要因の検討
3. 学会等名 ジャパンオーラルヘルス学会第24回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 谷口奈央、米田雅裕、吉永泰周、松崎英津子、畠山純子、濱中一平、堤貴司、谷口祐介、大城希美子、大曲紗生、山本繁、晴佐久悟、榑木晶子
2. 発表標題 学校健診結果にもとづく高校生の口臭に対する意識の実態とその要因についての検討
3. 学会等名 ジャパンオーラルヘルス学会第24回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 谷口奈央、米田雅裕、畠山純子、吉永泰周、松崎英津子、濱中一平、堤貴司、谷口祐介、大城希美子、大曲紗生、山本繁、晴佐久悟、榑木晶子
2. 発表標題 学校歯科検診結果にみる高校生の口臭の自覚とその関連要
3. 学会等名 第49回福岡歯科大学学会総会・学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉永泰周、米田雅裕、谷口奈央、松崎英津子、畠山純子、濱中一平、堤貴司、谷口祐介、大城希美子、大曲紗生、山本繁、晴佐久悟、榑木晶子
2. 発表標題 高等学校の歯科健診における結果通知による影響と歯周疾患との関連要因の検討
3. 学会等名 第49回福岡歯科大学学会総会・学術大会
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計15件

1. 著者名 榑木晶子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本外科学会	5. 総ページ数 3
3. 書名 日本外科学会誌	

1. 著者名 樽木晶子 (共著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカルサイエンスインターナショナル	5. 総ページ数 9
3. 書名 心不全ケア教本第2 版	

1. 著者名 樽木晶子 (共著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本臨牀	5. 総ページ数 7
3. 書名 心不全 (第 2版) 下77	

1. 著者名 樽木晶子 (共著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 3
3. 書名 心電図39	

1. 著者名 樽木晶子 (共著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本不整脈心電学会	5. 総ページ数 3
3. 書名 心電図	

1. 著者名 樽木晶子 (共著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 9
3. 書名 心電図関係不整脈の考え方、治し方	

1. 著者名 樽木晶子 (共著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 11
3. 書名 産科婦人科臨床 6 女性ヘルスケア	

1. 著者名 樽木晶子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカルサイエンスインターナショナル	5. 総ページ数 2
3. 書名 心不全ケア教本	

1. 著者名 樽木晶子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 28
3. 書名 トートラ人体の構造と機能第5版 原著15版 心臓血管系：血液	

1. 著者名 樽木晶子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 2
3. 書名 今日の治療指針2019年度版 伝導障害	

1. 著者名 樽木晶子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 3
3. 書名 周産期心筋症診療の手引き 心電図	

1. 著者名 樽木晶子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本不整脈心電学会	5. 総ページ数 2
3. 書名 心電図 第40巻3号 Editorial 「ときめきと不整脈」	

1. 著者名 樽木晶子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本循環器病予防学会	5. 総ページ数 11
3. 書名 日本循環器病予防学会誌 「心電図診断精度向上へのチャレンジと心疾患二次予防の20年」	

1. 著者名 樽木晶子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 3
3. 書名 総合診療 2021年3月号 特集 ライフステージでみる女性診療 at a glance! 「微小血管狭心症と診断する決め手は?」	

1. 著者名 樽木晶子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 4
3. 書名 総合診療 2022年11月号 特集 不定愁訴にしない“MUS”診療 病態からマネジメントまで 「動悸・胸痛 診断の進め方のポイントは?」	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	大草 知子 (Ohkusa Tomoko) (00294629)	宇部フロンティア大学・人間健康学部・教授 (35506)	
研究分担者	西坂 麻里 (小西麻里) (Nishizaka Mari) (00448424)	九州大学・大学病院・学術研究員 (17102)	
研究分担者	神谷 千津子 (Kamiya Chizuko) (10551301)	国立研究開発法人国立循環器病研究センター・病院・医長 (84404)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	永田 弾 (Nagata Hazumu) (20570790)	九州大学・大学病院・助教 (17102)	
研究分担者	木下 由美子 (Kinoshita Yumiko) (30432925)	宮崎大学・医学部・教授 (17601)	
研究分担者	戸高 浩司 (Todaka Koji) (40398061)	九州大学・大学病院・教授 (17102)	
研究分担者	山崎 啓子 (Yamasaki Keiko) (40803961)	宇部フロンティア大学・人間健康学部・講師 (35506)	
研究分担者	大賀 正一 (Ohga Shouichi) (60233053)	九州大学・医学研究院・教授 (17102)	
研究分担者	石北 綾子 (Ishikita Ayako) (60829232)	九州大学・大学病院・医員 (17102)	
研究分担者	筒井 裕之 (Tsutsui Hiroyuki) (70264017)	九州大学・医学研究院・教授 (17102)	
研究分担者	樽木 浩朗 (Chishaki Hiroaki) (70607093)	保健医療経営大学・保健医療経営学部・教授（移行） (37127)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中尾 久子 (Nakao Hisako) (80164127)	九州大学・医学研究院・教授 (17102)	
研究分担者	橋口 暢子 (Hashiguchi Nobuko) (80264167)	九州大学・医学研究院・教授 (17102)	
研究分担者	坂本 一郎 (Sakamoto Ichiro) (90616616)	九州大学・大学病院・学術研究員 (17102)	
研究分担者	山村 健一郎 (Yamamura Kenichiro) (30532858)	九州大学・医学研究院・講師 (17102)	
研究分担者	丹羽 公一郎 (Niwa Koichiro) (20138887)	聖路加国際大学・聖路加国際病院・特別顧問 (32633)	削除：2018年8月9日
研究分担者	石川 司朗 (Ishikawa Shiro) (80515429)	地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院（臨床研究部）・臨床研究部・副院長 (87122)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関